

令和2(2020)年度函館市水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

令和2年度の給水人口は、前年度に比べ3,308人減少し、249,740人となり、給水普及率（給水区域内人口に対する給水人口の割合）は99.9%となった。

また、水道1日平均給水量は、前年度に比べ1,365立方メートル減少し、89,373立方メートルとなり、温泉1日供給量は、前年度に比べ200立方メートル減少し、3,349立方メートルとなったほか、年間販売電力量は、前年度に比べ131,428キロワット時増加し、1,508,437キロワット時となった。

事業収益については、給水需要の減少による水道料金の減少等により、前年度に比べ155,965,270円の収入減（3.4%減）となり、総額で4,457,563,589円となった。

事業費用については、委託料や退職給付費の増加等により、前年度に比べ11,624,054円の支出増（0.3%増）となり、総額で4,229,771,115円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ167,589,324円減少し、227,792,474円の純利益を生じた。

建設改良事業については、赤川高区浄水場ろ過施設整備事業で令和元年度からの継続事業が完了したほか、原水及び浄水施設事業では導水管整備事業を、配水施設事業では配水管整備事業等を、簡易水道施設事業では恵山東部簡易水道配水管の更新等を、温泉供給設備事業では温泉供給管の布設替工事等を予定どおり施行した。